

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

禅の修行で無限の可能性が生まれる

1. インドに生まれた達磨大師が中国で興した禅は、中世日本の武家社会で花開いた。今や世界に広がる禅がサンスクリット語音の「ディヤーナ」でも中国語音の「チャン」でもなく「ゼン」なのは、現代の禅が 3 大禅宗（臨済宗、曹洞宗、黄檗宗）を中心とする日本の禅に由来するからだ。人間は誰しも何かを失う不安を持っている。地位が高い人、多くを持つ人ほど不安が大きいのは自然なこと。そうした負の思いを受け流したり、それに立ち向かう勇気をくれるのが禅なのである。
2. 花園大学学長で龍雲寺前住職の細川景一師は、「禅の修行では従来の価値観をいったん壊し、ゼロ（無）から出発する。物事を考える際、1+1 が 0 であつたり、2+3 が 7 及 10 であつたりと自由な発想が生まれ、そこに無現の広がる可能性が出てくる」とする一方で、「坐禅中に睡気や惰気を振り払うため、股に錐を刺したという話もある。禅は自分との戦いであり、厳しい忍耐力と強い意志力が養われる」と語る。
3. 禅の根本的な考え方である「即今、当処、自己（今、ここで自分が生きることを大事にする）」。「すなわち、先々を追いかけるのではなく、「日々の仕事にきちんと向き合うことが明日につながる」という理念が、変化のスピードが速い現代社会を生きるビジネスパーソンの心をつかんである。

(参考:「日経ビジネス」2013 年 12 月 16 日号)

経営者のための理念・哲学

一意専心とは一念集中のこと

沢井 淳弘 (京都産業大学名誉教授)

1. 中村天風先生から「人間はなんのためにこの世に生まれたか、おまえたちはわかっているか。それは宇宙の進化と向上のためだ。人間はそれを手伝う最高の存在なのだ」と聞かされました。また、「一意専心」のことを「一念集中」と言われています。天風先生は見る力、聞く力など、五感を磨くことをとても大切にされました。
2. 物を見るのに気なしに見ない、人の話を聞くのに、いい加減に聞かない。目の前の一つひとつのことをはっきりと意識して真心を込めて取り組んでいく、ということです。大切なのは、その習慣を何年も持続することです。そうすればきっと素晴らしい未来が開けてくると思います。

(参考:「致知」:2014 年 2 月号)

経営者のための経済学

就業者数は微減を続ける

藻谷 浩介 (日本総合研究所主席研究員)

1. 「アベノミクスがもてはやされているが、内実は公共工事の大盤振る舞い。旧態依然の政策頼みではないか」というのが、私の会う多くの経済専門家の見方だ。確かに、円安による輸出企業の収益改善効果が一巡した 2013 年 5 月以降は株価が横ばいで、輸出も小売販売額も勤労者世帯の所得も横ばいだ。そんな中で GDP が増えているのは、公共工事の成果だというのが、これとてどれほどのものだろうか。
2. 公共工事の増額が個人消費の増加につながらないことは、「失われた 20 年」が証明している。公共工事が有効求人倍率や失業率を改善することはあっても、就業者数そのものを増やすことはないからである。国内の就業者数は足元では約 6300 万人。1997 年の 6600 万人をピークに、長期的に微減を続けている。多年の少子化の結果、現役世代の数が、1990 年代後半から減少に転じたからだ。 (参考:「週刊東洋経済」2013 年 12 月 7 日号)

古典に学ぶ

陰を負いて陽を抱く

(解説) 根元たる「道」から一が生まれ、一から二が生まれ、二から三が生まれ、三から万物が生まれる。万物は、陰と、陽と、この両者を結びつける力とから成る。人はだれしも「孤」(みなしご)、「寡」(徳すくなき人の意)、「不穀」(不義の意味)を忌み嫌う。しかるに君主はそれを自己の呼び名とする。俗に「力を誇る者はろくな末路をたどらない」といわれている。遵守すべき教えの第一条は、このことばであろう。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)